

新たな ESG 調査

現代の複雑なハイブリッド、 マルチクラウドの世界では 管理の成熟度が成果を引き出します。

組織のネットワークインフラに精通した 1,000 人以上の IT リーダーやインフルエンサーを対象とした広範な調査の結果、この新しい ESG 調査では、成熟したハイブリッドおよびマルチクラウド管理の実践と大幅に優れたビジネス成果との間に明確な相関関係があることが明らかになりました。



アジア太平洋地域は完全にハイブリッドおよびマルチクラウドの世界に、

41 %

アジア太平洋地域でより成熟したハイブリッドおよびマルチクラウド運用を展開している組織が各市場を牽引しています

約2倍

これらの組織は、クラウドホストされたワークloadsに関する顧客満足度の目標を一般的に上回っています

さらに、ハイブリッドおよびマルチクラウドへ投資している組織は、成熟したハイブリッドおよびマルチクラウド運用を行うことで

2.2 倍

クラウドホスト型ワークloadsに関する従業員満足度の目標を上回る可能性が高くなります

ESG の広範な調査によると、
ハイブリッドおよびマルチクラウド環境の管理に対して「成熟した」アプローチを採用している組織は、大幅に優れたビジネス成果を達成しています。

他の組織が管理成熟度を向上できるように
ESG は、最も成功したハイブリッドおよびマルチクラウド組織で一般的に採用されている 4 つの重要な要素に基づいて、ハイブリッドおよびマルチクラウド管理成熟度モデルを設計しました。



1. より深いコラボレーションの促進

クラウド運用の専門性を高めるために、ネットワーク、セキュリティ、クラウド運用チームの間でより深い協力を促進します。



2. クラウドニュートラル化

ネットワークおよびセキュリティツールを採用して、オンプレミスとマルチクラウドの管理をの 1 つのコントロールプレーン上でオーケストレーションします。



3. DNS

を価値の高いクラウドセキュリティソリューションとして採用し、調査を迅速化するほか、脅威を早期にブロックします。



4. クラウド運用全体での自動化

を実現し、ネットワークとセキュリティの両方のワークフローで効率を向上します。

APAC（アジア太平洋地域）の組織がこれら4つのハイブリッドおよびマルチクラウド管理のベストプラクティスを実施することで得られるメリット：

4.8倍

数分以内でサービスを復旧できると回答した企業（数時間または数日以内ではなく）

2.2倍

クラウド間の可視性が大幅に向上したと回答した企業

>2倍

セキュリティ調査が大幅に加速した企業

1.6倍

開発者がすべてのアプリに対して、オンデマンドでコードをプッシュできると回答した企業

1.8倍

ユーザー向けクラウドホスト型アプリのCSAT（顧客満足度）目標を上回る確率

世界の他の地域の同業他社と比較して見られた違い：

8 % マルウェア/ランサムウェアからユーザーを保護するためにDNSを活用する可能性が低い

10 % CSPが提供するツールを使用する可能性がより高い

6% クラウドネットワークとセキュリティ制御のサイロ化が少ない

9 % クラウドインシディティブを開発する際のネットワークとセキュリティチーム間のコラボレーションが、世界の他の地域よりも低い

最後に重要な点は

これらの組織の達成率です

20.5%

同業他社に比べ、より大きなクラウドコストの削減を実現しています。

リーダー組織と、あなたの組織のハイブリッドおよびマルチクラウド管理の成熟度を比較してみませんか？



ESGリサーチレポートの全文を今すぐ読む
infoblox.com/get-multicloud-report

